

小牧山 戦国に馳せる
天正元年から3年の信長

～織田信長サミット2009に向けて～



小牧山

戦国に馳せる

第15回 天正元年から3年の信長

名古屋市博物館
学芸員 下村信博

関係年表

信長関係年表（天正元年～3年）	
天正元年 (1573)4月	挙兵した將軍足利義昭、信長に降伏する。
同年7月	再び挙兵した義昭、信長に降伏し、追放される。信長の要請で、年号が「元龜」から「天正」に改元される。
同年8月	信長、越前の戦国大名朝倉義景を亡ぼす。
同年9月	信長、北近江の戦国大名浅井長政を亡ぼす。
天正2年 9月	信長、凄惨な戦いを経て長島一向一揆を潰滅させる。
同年12月 ～翌3年	信長、領国内の街道を整備させる。
天正3年 3月	信長、公家・門跡に徳政令(借金)の帳消しを出す。
同年5月	信長、三河長篠の戦いで武田勝頼を破る。
同年11月	信長、従三位大納言に叙任され、さらに右近衛大将を兼任する。信長、長男信忠に織田家の家督を譲る。

元龜から天正に年号が変わるともに、信長を脅かしていた反信長勢力

反信長勢力の後退

將軍足利義昭の追放
信長との対立を深めた將軍足利義昭は、元龜4年(1573年)に反信長の兵を挙げました。信長は軍勢を率いて入京し、4月に義昭を降伏させます。しかし、7月に義昭は京都の將軍御所を出て宇治横島城で再び挙兵しました。信長は同城を攻めて義昭を降伏させると、彼を追放しました。以後各地を転々とした義昭は、將軍として京都に復歸することはありませんでした。信長は、將軍義昭に代わって、京都を中心とした畿内地域を直接支配する課題を背負うことになりました。

経済政策も進めていきました。

まだ大坂の本願寺など反信長勢力が残っていましたが、信長は畿内地域を治め、かつ全国制覇を進めるため新たな体制を作ります。天正3年11月に信長は、長男信忠に織田家の家督を譲り、尾張・美濃両国とともに岐阜城を与えました。信長自身は、翌年都に近い近江安土に天下人にふさわしい城を築きます。尾張の津島・熱田の経済力の重要さを理解していた信長は、街道の整備など流通

全国制覇を目指して

力は後退し始めました。天正元年に、朝倉・浅井氏が亡び、2年には長島一向一揆が潰滅し、3年には長篠の戦いで武田勝頼(信玄の子)が鉄砲と馬防柵の前に大敗しました。

織田信長サミット

本年9月に小牧市で第23回織田信長サミットが開催されます。このサミットは、織田信長公にゆかりのある全国の10の市、町の長が魅力あるまちづくりについて話しあう会議です。この会議は公開形式で行われます。

日時 9月5日(土) 午後1時開場

場所 市民会館ホール

記念講演 講師 荒俣 宏 氏

詳しくは、7月15日号広報でご案内します。



天王川 当時の津島は、天王川を通じて伊勢湾とつながる港町として繁栄していました。

問合先 文化振興課(☎76)

1189